



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第一四四号）

たいせつ
大雪

一月七日



つぼや大当たり

年末ジャンボ宝くじ。この言葉に、今年こそ一等と意気込む方、せめて三等でもと願う方それぞれですが、年末、おかげ横丁で注目されるのがやはり、「つぼや」です。

「おかげ座」の隣にある煙草屋「つぼや」に併設された宝くじ売り場。ここは築一〇〇年の旧旅館「五鈴館」ごれいかんの屋根瓦を使用しているとあって、ちまたの宝くじ売り場とは少々、趣きを異にします。

ここで平成二二年末に、年末ジャンボ宝くじの二等一億円が出ました。それからは、日本一の聖地である伊勢神宮前の宝くじ売り場と随分注目されるようになりました。

なんでも、店頭にでんつと座る、木彫のカエルの頭の上に宝くじをのせて拜むと効果があるのだとか。このカエルは「福かえる」と呼ばれています。じつとにらんで、福を呼び寄せているのでしょうか。観光客が頭をなでていくため、つるつるとしています。

そして、もう一匹、軒下には木彫の眠り猫がのんびりと昼寝をしています。案外この猫が福を呼び寄せる招き猫なのかもしれません。

実は「つぼや」の大当たりには、こんな話も語られています。おかげ横丁は五四の店舗を数えますが、店のおかみが集う「おかみの会」が結成されています。内宮前で商いをしているからと、「おかみの会」でも毎月一回皆で揃って内宮へお参りをするようになりました。そして月参りを始めて二、三ヵ月後に年末ジャンボで一億円が「つぼや」で出たというのです。もちろん、「つぼや」のおかみさんもお参りに来ていました。

おかみたちの月参りは今も続けられています。年末ジャンボ宝くじは今月二一日まで販売されています。

文 千種清美

